

令和元年度 施策評価シート

基本目標	I	「すみだ」らしさの息づくまちをつくる
政策	120	すみだの多彩な魅力を内外に発信し、成熟した国際観光都市をつくる
施策	122	区内の観光資源を連携させ、楽しめるまちをつくる
施策の目標	区内に点在する観光拠点・資源の連携により、観光地としての魅力が向上するとともに観光プログラムが充実し、多くの人々がすみだを訪れ、まちがにぎわっています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指 標 名	観光客による区内観光施設等の平均立寄り地数									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					3.5箇所					4.0箇所
実績										
	区内における来訪者の観光消費額推計									
	基準年 (H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					4,500億円					4,750億円
実績										

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
両国観光案内所の来場者数が着実に増加している。両国地域の観光資源を数多く回ってもらい、長時間滞在することで消費活動につなげていくため、観光資源を連携させ、まち歩き観光を推進する必要がある。	H28	4,000
	H29	4,000
	H30	9,988

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	オリンピック・パラリンピック開催後においても、多くの方が両国へ観光に訪れまちが活性化するよう、引き続き観光まちづくりを推進する。

4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
○	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
平成31年度より、地域の取組みを支援する仕組みを構築し、墨田区観光協会(DMO)を中心とした地域主体の活動へと移行、区はその支援を担うこととしており、産業観光部からの予算計上となったため。	
【今後の具体的な方針】	
地域の取組みを支援するため、引き続き墨田区観光協会との連携により観光まちづくりを推進する。	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳 出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳 出 総 額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標	直近の評価内容
						年度目標値	評価結果
						年度実績値	評価対象年度
1	両国地区まちづくり事業	9,988	3,937	13,925		2,037,000人	改善・見直し(効果測定)
						1,642,396人	平成30年度
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

施 策	122	区内の観光資源を連携させ、楽しめるまちをつくる				部内優先順位
事 業 名	両国地区まちづくり事業					1
目 的	両国地域の貴重な観光資源を輝かせ、両国らしい賑わいを呼び覚まし、両国地域の魅力の底上げを図ることにより、国内外から訪れる観光客の区内における観光回遊性を向上させる。					主管課・係（担当）
						都市計画課まちづくり支援担当 03-5608-1204
対 象 者	両国地域の区民・事業者等 墨田区を訪れる、国内外からの観光客					
根拠法令 関連計画	両国観光まちづくりグランドデザイン 両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けた計画					
実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先：墨田区観光協会	
事業内容	平成25年7月に策定した「両国観光まちづくりグランドデザイン」に基づき、エリアごとの地域資源や取組等について意見交換を行う「エリア懇談会」や、各エリアでの取組や課題等について情報交換を行う「地域連絡会」を開催している。その中で、観光客の回遊性向上に資する取組としてどのようなことができるか、どのようなことをしたいかについて議論を重ね、地域の自主性・自発性を育みながら、観光まちづくりに取り組んでいる。 (参考) Aエリア：横綱 Bエリア：両国・千歳 Cエリア：石原・亀沢 Dエリア：緑・立川・菊川					
経 過	開始年度	平成25年度	終了予定		令和元年度	
	[平成25年7月] 両国観光まちづくりグランドデザイン 策定 [平成26年] エリア懇談会・地域連絡会 発足 / 庁内連絡調整会議 発足 [平成31年4月～] 墨田区観光協会（DMO）を中心とした新たな支援体制へと移行（主な取り組み） [平成27年3月] 両国春のまちブラ [平成28年3月] 両国春のまちブラvol.2 [平成29年3月] 東京マラソン（オリジナルのエリアマップを作成・配布） [平成30年3月] 東京マラソン（オリジナルのエリアマップを作成・配布） [平成31年3月] 安兵衛公園歴史説明板完成記念イベント（墨田区まち歩きイベントとのタイアップ）					
議会質問 の 状 況	[平成27年 2定] 両国観光まちづくりグランドデザインの今後の取組みとスケジュールについて					
そ の 他 特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） すみだ北斎美術館の開館や、東京オリンピック・パラリンピックを見据えた両国界隈のハード整備事業が概ね完了し、今後は地域主体による取組を推進するため、墨田区観光協会（DMO）を中心とした新たな支援体制へと移行する。					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		5,011	4,011	4,014	4,014	10,014	1,000
決算額（令和元年度は見込み）		4,968	3,953	4,000	4,000	9,988	1,000
財 源	国	0	0	0	0	0	0
	都	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	2,310	0
一般財源		4,968	3,953	4,000	4,000	7,678	1,000
執行率（％）		99.1%	98.6%	99.7%	99.7%	99.7%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	運営委託	4,000	委託料	運営委託	5,000	委託料	観光ツール改修委託	1,000
				観光ツール制作委託	4,990			

事業の成果	手段に対する指標 (活動指標)	指標	エリア懇談会、地域連絡会等の開催				単位	回
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		0	R2	目標	11	11	10	0
				実績	11	10	7	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標						
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	エリア懇談会や地域連絡会等を開催し、地域の方々の意見を伺いながら、地域の魅力を高めるための取組を行っているため。なお、令和元年度以降は、墨田区観光協会(DMO)を中心とした地域主体の活動へと移行し、区はその支援を担う立場となるため、目標年度に向かって開催回数は減少していく。							
	目的に対する指標 (成果指標)	指標	両国エリアの主要観光施設入込客数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
		2,037,000	R2	目標	1,864,000	2,037,000	2,037,000	2,037,000
				実績	2,330,966	1,545,923	1,636,461	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	2,037,000	2,037,000	2,037,000	2,037,000	2,037,000	2,037,000
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	両国観光まちづくりブランドデザインの推進により、両国地域の観光資源が区内外へPRされ、両国を訪れる観光客数が増加していくことを見込んでいるため。 ※平成29年度は、江戸東京博物館改修工事に伴い一時閉館していたため、実績数が減少している。							

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	これまでは行政主体による活動が主であったが、今後は、地域主体による活動へと移行する時期に到達していることから、墨田区観光協会(DMO)を核とした支援体制を構築・運用していく。

課題・問題点
2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、地域主体による取組を活性化するとともに、墨田区観光協会(DMO)を中心とした支援体制の円滑な運用を図る。